

園児チェックイン



概要と特徴

園児が登園したこと（または予定時刻に登園していないこと）を保護者にLINEで通知することにより、通園バス置き去りなどの事故を未然に防止するための仕組みです。

- 専用の装置を購入・設置する必要がありません。
- 新しいアプリのインストール、アカウント作成も不要です。
- 自治体でサービスを開始するとその町のすべての園で利用可能になります。

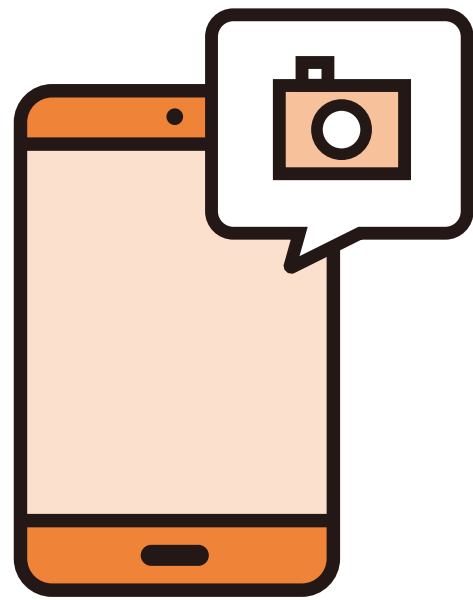
必要なもの



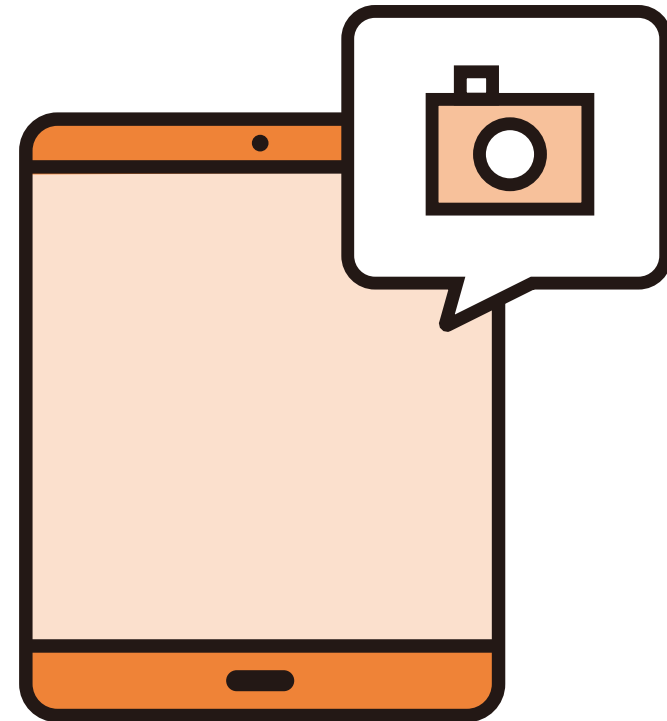
保育園



保護者

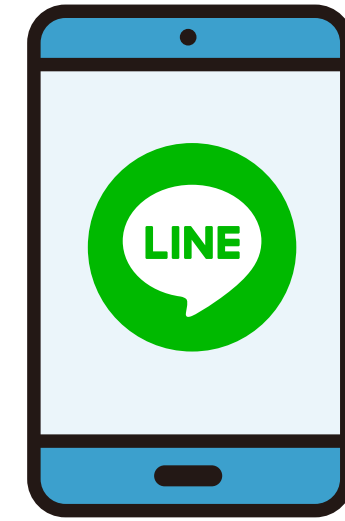


or

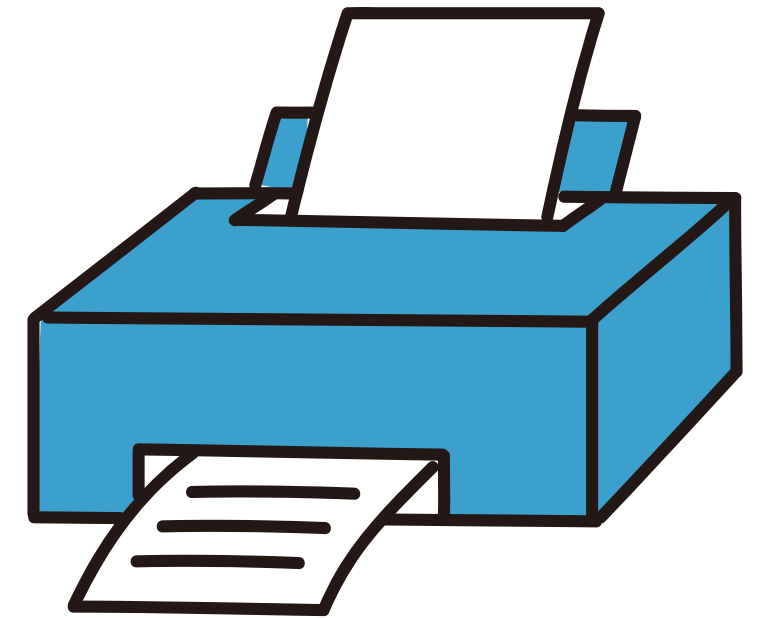


カメラ付のスマホ

カメラ付のタブレット



and



LINEが
インストールされた
スマホ

プリンター
(QRコードをプリントできればOK)



ご家庭でのセットアップ



LINEで友達登録

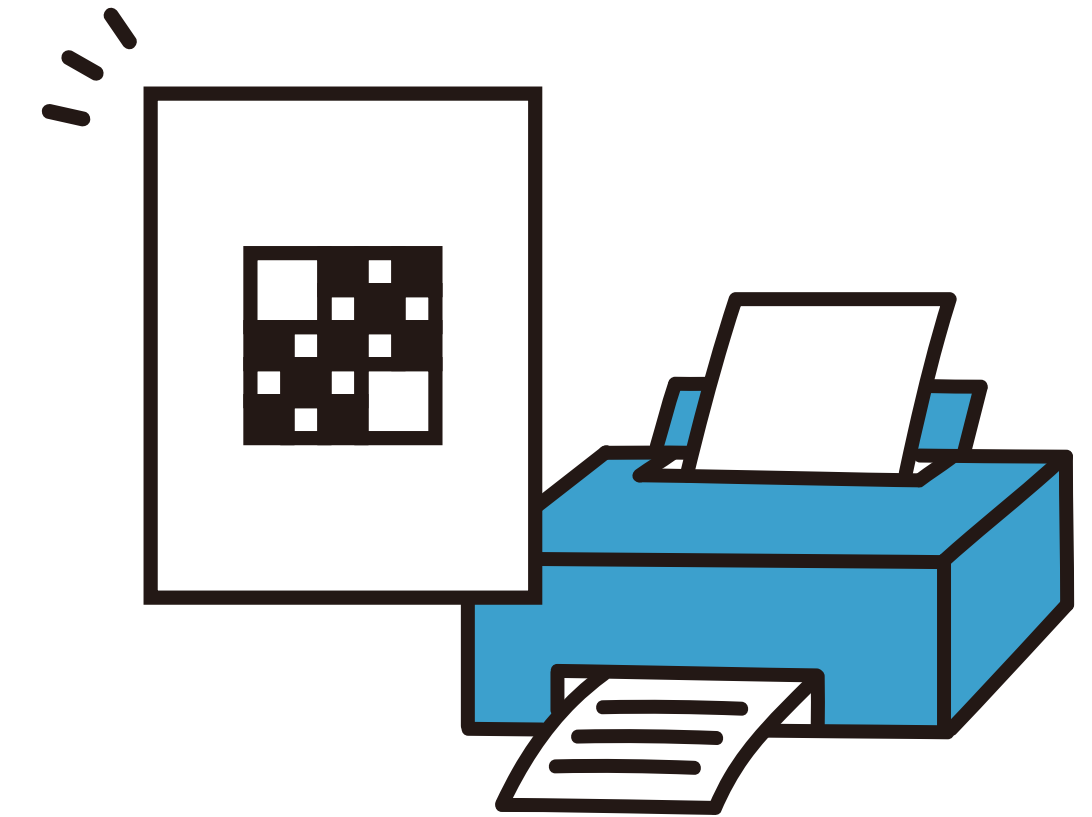


園児を登録

- 氏名
- 登園時刻



QRコードをプリント



実際の登録操作

※登園時刻登録は省略しています。





登園の流れ

1

QRコードを持たせて
送り出す



2

バスを降りたら
先生がQRをスキャン



3

もし〇〇分以内に
登園記録が入らないと
保護者にアラートを送信

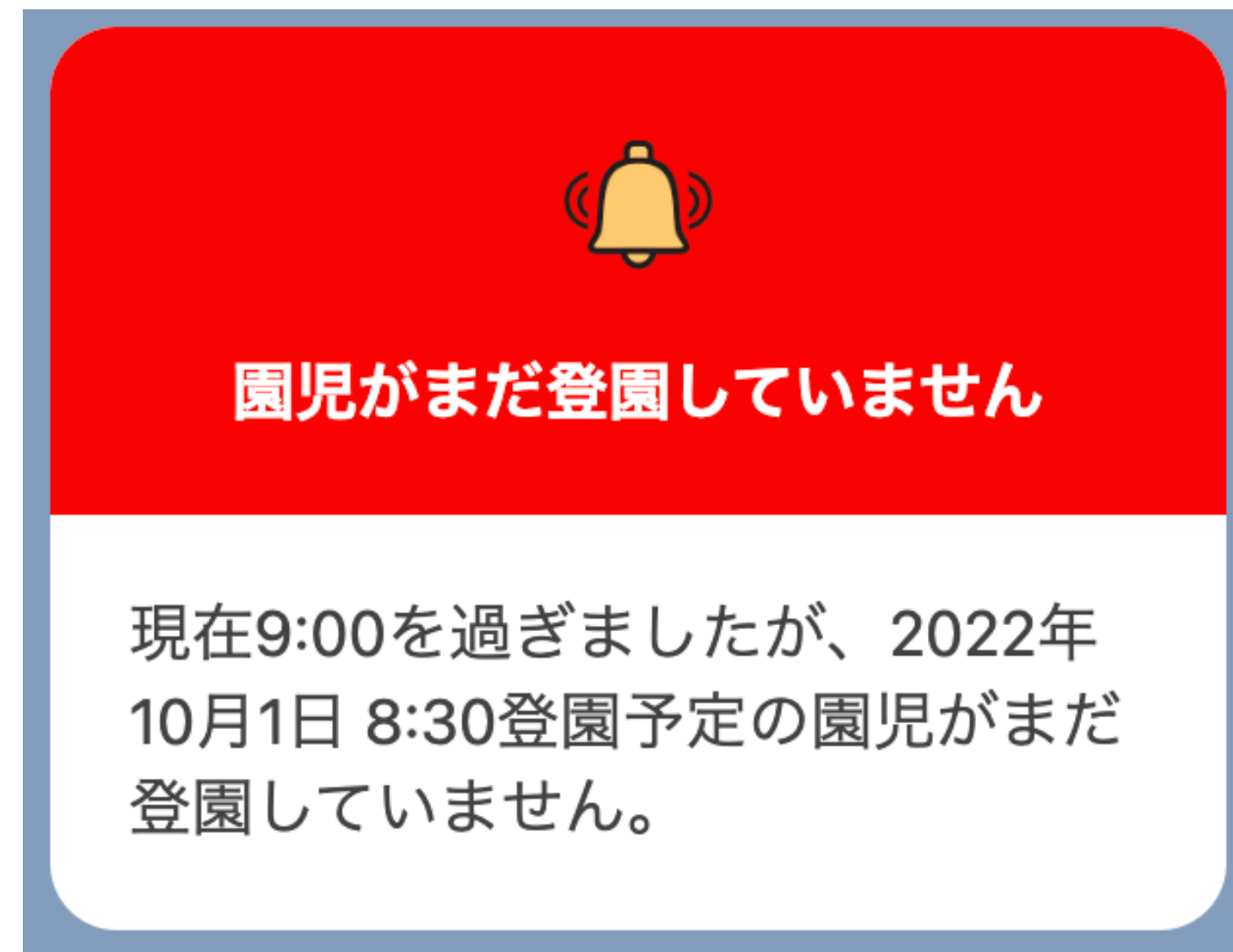


※「登園した」という通知も可能です。

実際の通知例



チェックインした時



予定時刻にチェックインしていない場合

安全性の考察

このLINE通知は単純にQRコードがスキャンされた（あるいは一定時刻にされなかった）ことによって送信されます。そのスキャンが対象の保育園でおこなわれたかどうかという厳密な判定はおこないません。これは今回防止したい事案が「置き去り」であることを考えると、十分な仕組みであると考えられ、厳密な判定をおこなうためにセットアップの手順が増えてしまうより、ほとんどの人が問題なく利用でき、実質的な再発防止効果のあるシンプルな手段を提供することを重要視しているためです。

保育園では「園に入ったらスキャンする」というルールだけ徹底していただければ、機能する仕組みになると思います。

この仕組みは、園が利用することを決めるだけで運用開始でき、これまで安全確認が園のみに依存していたところを、保護者によるダブルチェックが追加されることで少なくとも現状の安全性を改善します。一方、「保護者に通知する」ということで本サービスでの安全性は保護者に依存するサービスです。別のアイデアとしては園児が自身でアラートを出すための車内の警報装置なども考えられると思います。これらはそれぞれ何に依存した手法なのか、長所とリスクを整理して検討していくことが必要だと考えています。

つくろう。愛される行政サービスを。

 **Bot Express**

* 本資料の著作権はBot Expressに帰属します。